

愛知の教育に関する大綱（2026年度～2030年度）（案）

## 策 定 の 趣 旨

- 地方公共団体における教育行政を充実させるためには、地方公共団体の長が責任を持って、大きな目標や方針を提示する必要があります。  
その上で、教育委員会がより専門的な観点から教育行政を行い、地方公共団体の長と教育委員会が連携・協働しながら、多様化・複雑化する教育課題への対応に当たることが求められます。
- 愛知県では、2021年2月に、教育に関する目標や施策の根本となる方針として、「愛知の教育に関する大綱（2021年度～2025年度）」を策定し、教育委員会との緊密な連携・役割分担のもと、教育行政の充実を図ってまいりました。
- 社会の多様化が進み将来の予測が困難な中で、持続可能な社会を維持・発展させていくためには、子供たちがしなやかに、たくましく人生を切りひらき、他者と協力して社会を創っていく力を育む必要があります。また、人生100年時代と言われる中、誰もが豊かな人生を送ることができるように、生涯にわたって学び続けることが大切です。
- なお、近年の教育を取り巻く状況として、不登校児童生徒や外国人児童生徒等の増加に加え、地域社会のつながりや支え合いの希薄に伴う地域の教育力の低下が指摘されており、こうした多様な教育課題に対応するためには、個々の教員が働きがいを感じながら専門性を高めるとともに、教育分野におけるICTの活用を日常化とするなど、教育DXを更に推進させる必要があります。
- この大綱では、「自ら考え、互いに支え合い、高め合う」あいちの学びを推進するため、持続可能な社会の創り手を育むことを基本理念として、その実現のために4つの基本的な方針を定め、引き続き愛知の教育の充実を図ることとしております。
- これまで教育委員会と築いてきた取組の成果を踏まえ、新たな大綱のもと、全ての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、未来の愛知の創り手の育成にしっかりと取り組んでまいります。

2025年12月 日

愛知県知事 大村 秀章

## 1 大綱の対象期間

2026年度から2030年度までの5年間

## 2 基本理念

自ら考え、互いに支え合い、高め合うことのできるあいちの学びを進め、持続可能な社会の創り手を育みます。

## 3 基本的な方針

- (1) 持続可能な社会の創り手として自立し、新たな価値を生み出していく力を育みます。

将来の予測が困難な時代に、持続可能な社会の維持・発展に向けて、主体的に課題を発見し、多様な人々と協働しながら解決していく力や、新たなイノベーションを生み出す力を育む教育を目指します。

- (2) 多様性を尊重し、様々な選択肢の中で一人一人の可能性を引き出し、自分らしく生きる力を育みます。

特別支援教育を受ける子供、日本語指導が必要な子供など、多様な子供たちを包摂できるよう、全ての人々が互いの人権を尊重し多様性を認め合い、他者を思いやることにより、誰一人取り残されない共生社会の実現を目指します。

- (3) 誰もが幸せや生きがいを感じられるよう、健やかな体と心を育むとともに、生涯にわたって学べる環境づくりを進めます。

人生100年時代と言われる中、誰もが幸せや生きがいを感じられるよう、学校・家庭・地域が連携した取組を進めるとともに、健やかな体を育みながら、生涯にわたって学び続けることのできる環境づくりを目指します。

- (4) 子供の意欲と教職員の働きがいを高める魅力的な学びの環境づくりを進めます。

子供たちがいきいきと学ぶために必要な、質の高いよりよい教育を実現することができるよう、教育DXを推進し、教職員の健康を確保しながら安心・安全で魅力的な学びの環境づくりを目指します。